

先週のマーケット動向(12月6日～12月10日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,184.0	1,186.1	1,172.8	1,181.3	▲1.2
JPY/KRW	10.4742	10.5093	10.3144	10.4061	▲0.015
KOSPI	2,954.82	3,036.13	2,932.49	3,010.23	▲41.90

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。米株が下落した先々週末のリスクオフの展開を引き継いで1,184.0ウォンでオープン。しかし6日、7日と先週から継続している外国人投資家の株買いで連日KOSPIが上昇すると、ドル/ウォンは上値重く推移した。8日は海外時間ではオミクロン株による重症化の可能性が低いとの報道を受けリスク性資産に買い戻しが入る中、前日比やや下落した1,177.2にてオープンし、その後は新しい材料に欠ける中で終始方向感に乏しい展開。9日はオミクロン株への過度な懸念が弱まり1,173.5ウォンでオープン。しかし来週のFOMCを控えた警戒感や1,170ウォン前半での押し目買いが支え要因となりじりじりと上昇し、続く週末10日も米11月CPIを控えて全体的にドル買いとなる中で1,180ウォンを上抜け、結局先週末対比1.2ウォン下落した1,181.3ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は比較的軟調な展開を予想する。注目されていた先週の米11月CPIは市場予想通りで過度なインフレへの懸念が後退し、米国の金融政策の前倒し観測が後退。週初は先週末の流れを引き継いだ株式市場の堅調推移に連れる形でドル/ウォンは上値の重い展開が想定される。ただ今週は水曜日にFOMCを控えているため、通過するまでは大きな方向感が出ることは期待しづらい。また、国内の新型コロナウイルス感染者が高止まりしていることからドル/ウォンは下値も限定的。今週のドル/ウォンは大きな方向感が出づらい中で、どちらかと言えば上値の重い展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1167 ~ 1192	10.22 ~ 10.52	112.6 ~ 114.6

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 13日(月) 日 10月 機械受注 確定値
日 4Q 日銀短観
- 14日(火) 日 10月 鉱工業指数 確報値
米 11月 PPI
- 15日(水) 韓 11月 失業率
米 12月 NY連銀製造業指数
中 11月 鉱工業生産
中 11月 小売売上高
米 11月 小売売上高
米 FOMC 政策金利発表
- 16日(木) 欧 12月 サービス業PMI 速報値
米 12月 サービス業PMI 速報値
米 12月 製造業PMI 速報値
欧 12月 製造業PMI 速報値
米 11月 鉱工業生産
米 11月 住宅着工件数
日 11月 貿易統計
欧 ECB 政策金利発表
- 17日(金) 欧 11月 CPI 確報値
日 BOJ 政策金利発表